



【中山間地域フォーラムシンポジウム】（2021/7/10）

【解題】 新たな農村政策を問う

1

関司直也（法政大学現代福祉学部 教授）

E-mail : zushi@hosei.ac.jp

新たな農村政策登場の経緯

▼第1段階：審議会で食料・農業・農村基本計画の見直し検討

2019年夏　　：実践者ヒアリング

9月～　　：見直しの実質的な議論開始

11～12月：現地意見交換会（ブロック単位）

2020年3月　：審議会答申を受け、閣議決定

産業政策と地域政策を車の両輪として推進することを確認。

「地域政策の総合化」：しごと×くらし×活力

施策化に向けた総合的な議論を担うプラットフォームの設置を明記。

▼第2段階：検討会で農村政策の各論を深掘りし、具体化目指す。

2020年4月～：「新しい農村政策の在り方に関する検討会」

「長期的な土地利用の在り方に関する検討会」設置

2021年6月：検討会中間取りまとめを公表

→検討プロセスとして新たなチャレンジの要素も。

地方への人の流れを加速化させ持続的低密度社会を実現するための新しい農村政策の構築（概要）

—令和2年食料・農業・農村基本計画の具体化に向けて—

令和3年6月
新しい農村政策の在り方に関する検討会
長期的な土地利用の在り方に関する検討会

背景

- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 人口・経済活動の大都市への過度な集中
- テレワーク、兼業・副業等の新しいスタイルの働き方
- 田園回帰による人の流れの加速化
- 少子高齢化・人口減少
- 農村の持つ価値や魅力の再評価
- 持続的な低密度社会の実現
- 大都市から農村への人口分散
- 災害に強い持続的な国土保全、みどりの食料システム戦略、2050年カーボンニュートラル、SDGsへの貢献

今後の施策の方向性

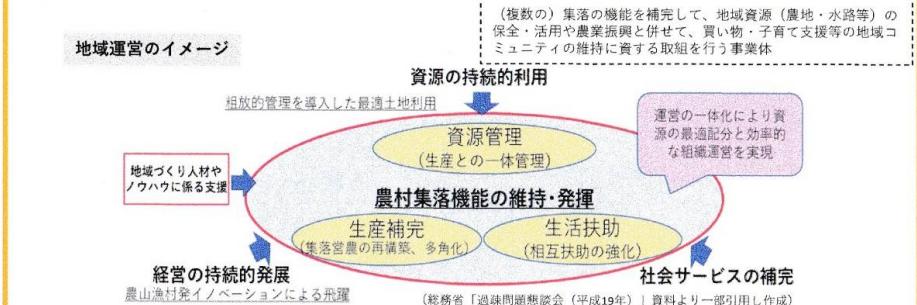
しごとづくりの施策 （農村における所得と雇用機会の確保）

- 農村の担い手として、**多様な形で農に関わる者**が十分な所得を確保できるよう、農村の**地域資源をフル活用した「農山漁村発イノベーション」を推進**



くらしの施策 （中山間地域等をはじめとする農村に人が住み続けるための条件整備）

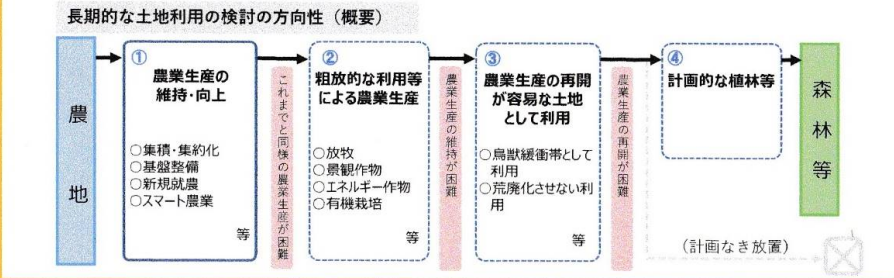
- 農村集落の**共同活動**の推進や、複数の農村集落の機能を補完する**農村地域づくり事業体（農村RMO）の育成等**



- 情報通信基盤など生活インフラの整備や、ため池の**防災・減災対策**の推進

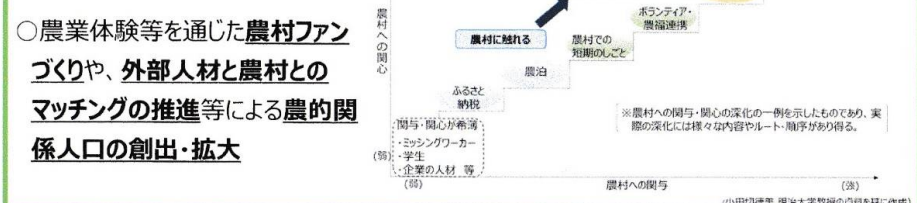
土地利用の施策 （人口減少社会における長期的な土地利用の在り方）

- 食料の安定供給のための農地の確保を前提として、有機農業や放牧など**持続可能な土地利用**とこれを支える農地・農業水利施設の整備



活力づくりの施策 （農村を支える新たな働きや活力の創出）

- 地域づくり人材の育成**やネットワークづくり、地方自治体等に対する広域的な**サポート体制の構築**



- 農業体験等を通じた**農村ファン**づくりや、**外部人材と農村とのマッチングの推進**等による**農的関係人口の創出・拡大**

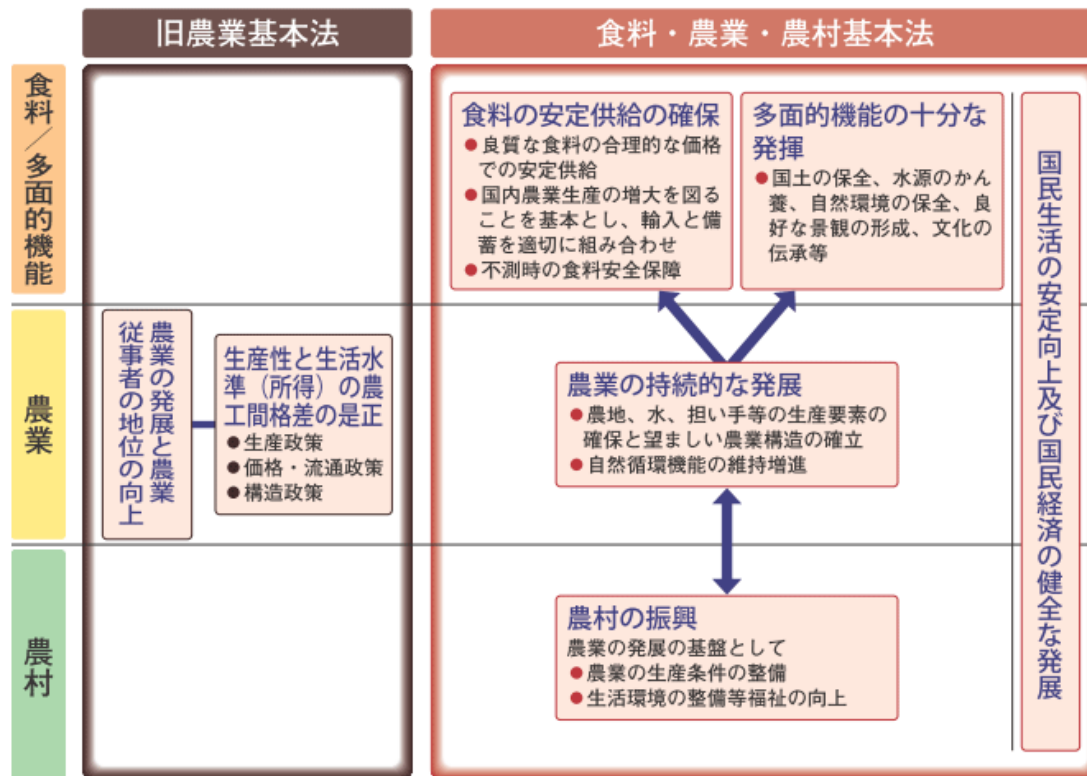
関係府省で連携した仕組みづくり

関係府省、地方自治体、事業者と連携・協働し、施策を一体的に講ずる「**地域政策の総合化**」の推進

農水省資料より引用

検証軸をどこに求めるか—“原点”に立ち返る

特-1 農業基本法から食料・農業・農村基本法へ



資料：農林水産省作成

▼1999年：
食料・農業・農村基本法
制定

▼2000年～：
中山間地域等直接支払
制度開始

▼2006年～：
中山間地域フォーラム設立

→基本法, 中山間直払
から20年

生源寺) 日本の農業＝二階建て

【上層】市場との絶えざる交渉のもとに置かれた層(ビジネスの上層)

【基層】資源調達をめぐって農村コミュニティの共同行動に深く組み込まれた層

この10年で大きく変わってきた担い手像

▼これまで“向かい風”基調：

過疎化・高齢化，「限界集落」，「むらの農離れ」

△“追い風”が時折混じるように：

コミュニティ，営農の担い手として“田園回帰”の動向が視野に。

20～40代を中心に、上世代から刺激。継承も意識。農への多様なアプローチ。

→“帆”をどう上げればよいのか：

【基層】と【上層】はどう変化しているか。

どのようにつなぎ直すのか。

＝地域社会の立て直しと地域経済の再建をどう図っていくかが、地域づくりの焦点に。

5月研究会) 多様な「半農半X」の展開と可能性

今回) 「農村発イノベーション」はその要になり得るのか

【本日のプログラム】

13：30 【開会】 開会挨拶：会長 生源寺眞一（福島大学）

13：35 【解題】 新たな農村政策を問う 関司直也（法政大学）

13：45 【基調報告】 新しい農村政策の在り方に関する検討会の経緯と中間取りまとめについて

農林水産省農村振興局農村政策部長 山口 靖氏

14：20 【現場からの報告】

①にいがた付加価値 事務局長 阿部 巧氏（新潟県中越地域から）

②みんなの集落研究所 主席研究員 阿部典子氏（岡山県内から）

～休憩～

15：35 【パネルディスカッション】 農村発イノベーションは広がるか

司会：竹田麻里氏（東京大学），パネリスト：阿部巧氏，阿部典子氏

コーディネーター：澤米 渉氏（鳥取県地域づくり推進部共生プロジェクト推進室長）

阿高あや氏（日本協同組合連携機構主任研究員）

榊田みどり氏（明治大学客員教授）

16：30 【閉会】 閉会挨拶：副会長 野中和雄

